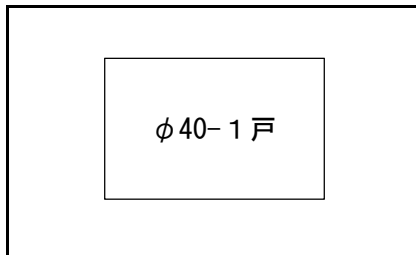


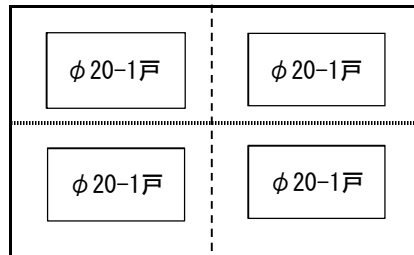
(参考) 分担金取扱事例

【要綱第3条第2号（ア）及び4条1号】

例1) メーター口径が減径となる改造工事を伴う新設工事であるとき①



■既設メーター φ40 - 1個



■減径（φ40→φ20）の改造工事 1件
φ20新設工事 3件（増設）

旧口径に係る分担金の総額
32万円（消費税抜き）

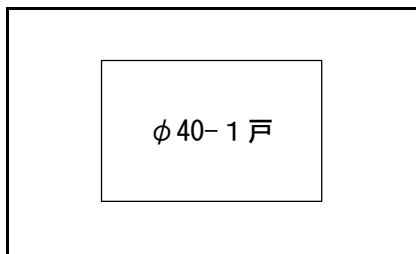
新口径に係る分担金の総額
24万円（消費税抜き）

分担金の支払い義務の生じるφ20新設工事3件分について分担金を免除する。

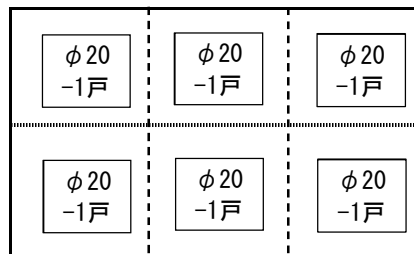
※新口径に係る分担金の総額が旧口径に係る分担金の総額以下の範囲内で分担金を免除できる。

【要綱第3条第2号（ア）及び4条2号】

例2) メーター口径が減径となる改造工事を伴う新設工事であるとき②



■既設メーター φ40 - 1個



■減径（φ40→φ20）の改造工事 1件
φ20新設工事 5件（増設）

旧口径に係る分担金の総額
32万円（消費税抜き）

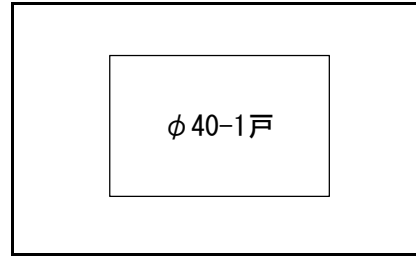
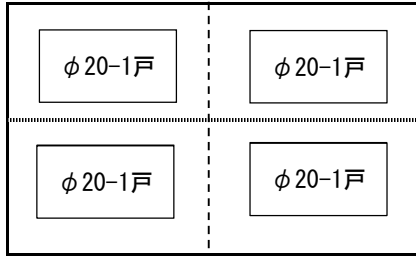
新口径に係る分担金の総額
36万円（消費税抜き）

分担金の支払い義務の生じるφ20新設工事4件分について分担金を免除し、φ20新設工事1件分について4万円（消費税抜き）を徴収する。

※新口径に係る分担金の総額が旧口径に係る分担金の総額以下の範囲内で分担金を免除できる。なお、分担金を免除した場合で、新口径に係る分担金の総額が旧口径に係る分担金の総額より大きいときは、新口径に係る分担金の総額から旧口径に係る分担金の総額を減じて得た額を徴収する。

【要綱第3条第2号（イ）及び4条2号】

例3) 撤去工事を伴うメーター口径が増径となる改造工事であるとき



■既設メーター φ20-4個

旧口径に係る分担金の総額
24万円（消費税抜き）

■増径（φ20→φ40）の改造工事 1件
φ20撤去工事 3件

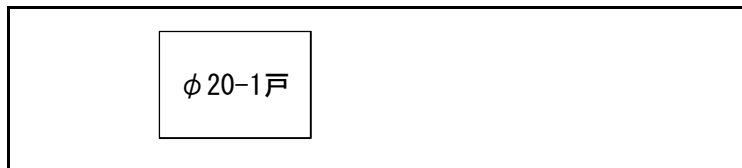
新口径に係る分担金の総額
32万円（消費税抜き）

分担金の支払い義務の生じるφ40増径の改造工事について、8万円（消費税抜き）を徴収する。

※新口径に係る分担金の総額が旧口径に係る分担金の総額以下の範囲内で分担金を免除できる。なお、分担金を免除した場合で、新口径に係る分担金の総額が旧口径に係る分担金の総額より大きいときは、新口径に係る分担金の総額から旧口径に係る分担金の総額を減じて得た額を徴収する。

【要綱第4条4号】

例4) 土地を分筆する等により給水装置を増設する場合



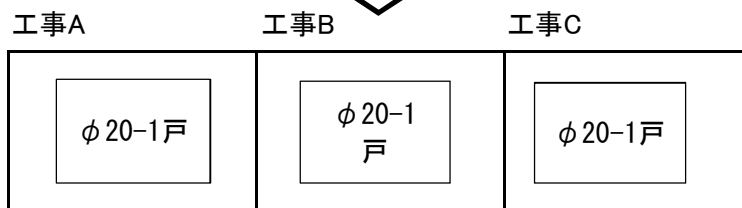
■既設メーター φ20-1個



◆免除の対象の指定

土地の分筆等により、給水装置を新設する場合は、分担金の免除の対象を指定してもらう。

例) 工事Aに対し支払い義務の免除を行うこととした場合



工事Aについて

口径変更のない改造工事であり分担金の徴収なし。

工事B、工事Cについて

φ20新設工事の分担金を徴収する。